

◇◇ 仕様書 ◇◇

お客様名

件名

台

仕様書No. : FHP0022001 (-0)

機種名 : 循環加温ヒートポンプ

型番 : FHP-H452H

製品コード :

【営業用図面】

総組立図No. FHP0122001

回路図No. C022105

その他

性能仕様書 FHP1022001

水質基準 FHP1C22001

【電気仕様】

定格消費電力 : 三相 200V 1.61kW (外気温度16℃, 入口水温56℃, 出口水温60℃, 流量16L/min時) (50Hz/60Hz)

定格加熱能力 : 4.5kW (外気温度16℃, 入口水温56℃, 出口水温60℃, 流量16L/min時)

補足 : 圧縮機定格出力1100W

【構造】

最高使用圧力 : 500kPa

【使用条件】

設置場所 : 屋内/屋外

使用雰囲気温度 : -10~43℃ ※1

給水温度 : 運転開始から1時間以内に入口温度が15℃以上になるようにして下さい (凍結しないこと)

使用水 : 水 (JRA GL-02-1994準拠)

水道直結 : 水道法 基準適合品

【温度制御】

設定温度 : 30~64℃

【安全装置】

温度過昇防止装置

【付属品】

ドレンニップル、防水ゴムキャップ

【本体色】

シルキーシェード (マンセル値 : 1Y8.5/0.5)

【注意事項】

- 本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。発火のおそれがあります。
- 製品設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場合は、各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。凍結により破損、漏水のおそれがあります。
- 規定の給水圧力、給水温度でご使用ください。誤動作や故障の原因となります。
- 大規模地震による給湯設備の転倒・移動による被害を防止するため、「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改正する告示 (平成24年国土交通省告示第1447号)」が平成24年12月12日に公布され、平成25年4月1日より施行されました。本告示に従い設計、施工を行ってください。
- 熱源機ルームドレン口は凝縮水を排水するため、絶対にバルブなどで閉じきりにせず、必ず開放にしてください。
- 必ず電源一次側に電源ブレーカを取り付け、アース工事を行ってください。故障等による漏電発生時に感電・火災のおそれがあります。
- 飲用には適していません。
- 風通しがよく吸込口、吹出口の近くに障害物の無い場所に設置してください。
- 直射日光のあたらない場所に設置してください。
- 運転音や振動が増大しない場所に設置してください。
- 排水されたドレン水が流れても問題無い場所に設置してください。
- 蒸気や腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。
- 有機溶剤を使用している場所には設置しないでください。
- 高周波を発生する機器 (インバータ機器、自家発電機、医療機器、通信機器) がある場所には設置しないでください。

◇◇ 仕様書 ◇◇

お得意様名

件名

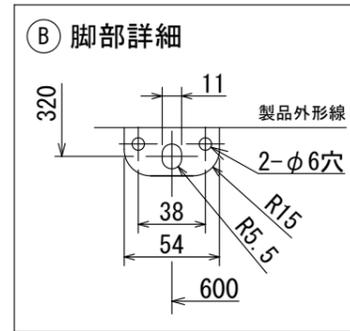
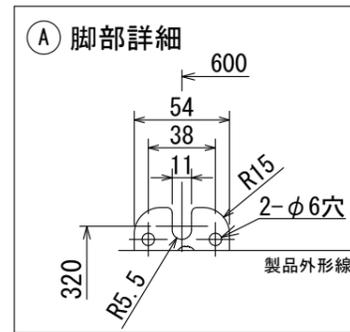
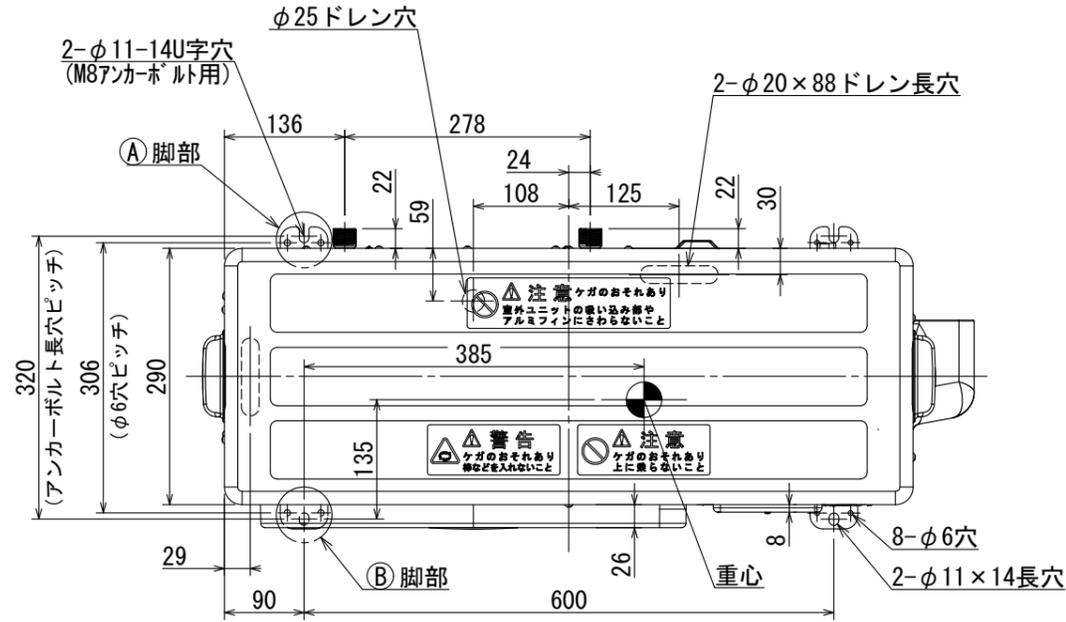
台

- 特殊な雰囲気中(温泉地、海岸地区、油の多い所、腐食環境、粉塵、金属粉等)には設置しないでください。
- 降雪地区に据付ける場合は高置台への設置や防雪屋根を設けるなどして、空気吸込口と吹出口が積雪で塞がれない様にしてください。
- 雪の吹き溜まりになるような場所には設置しないでください。
- 水質基準に適合した水以外は使用しないでください。健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水に添加物を混ぜることも同様です。
- 電源は電圧変動の少ない商用電源を使用してください。発電機等で生成した電源は本製品が停止する事があります。電源の瞬時停電により停止する場合があります。
- 接続配管は耐食性、耐熱性に適した材質を使用してください。
- 上記内容および技術資料・取扱説明書・据付工事説明書の内容を守らなかった為に発生した不具合については、保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

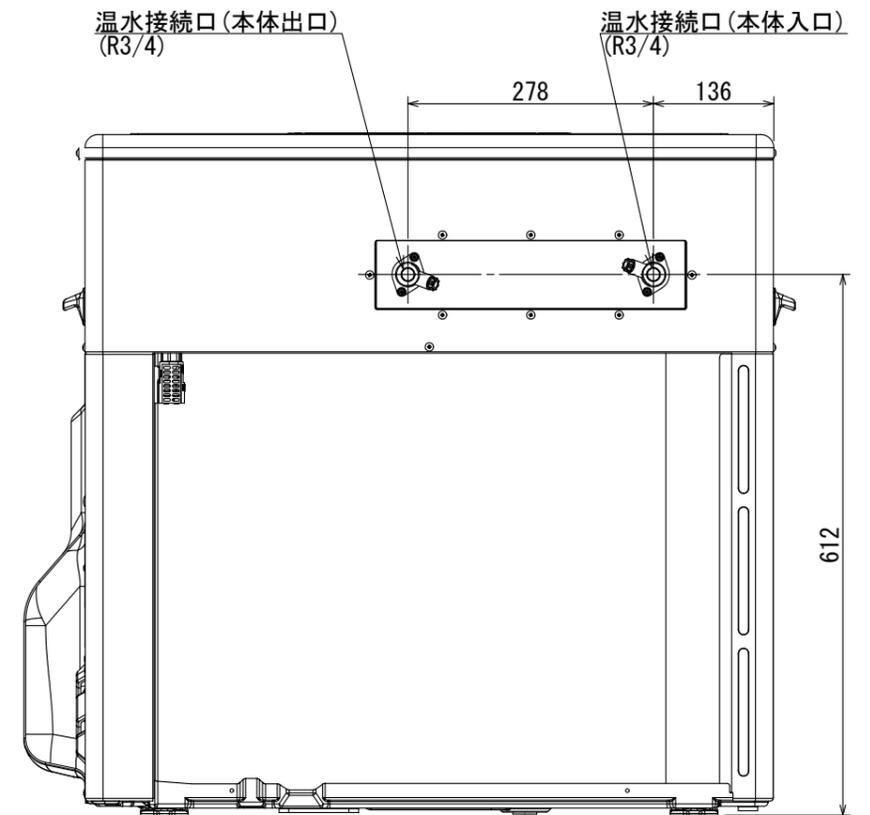
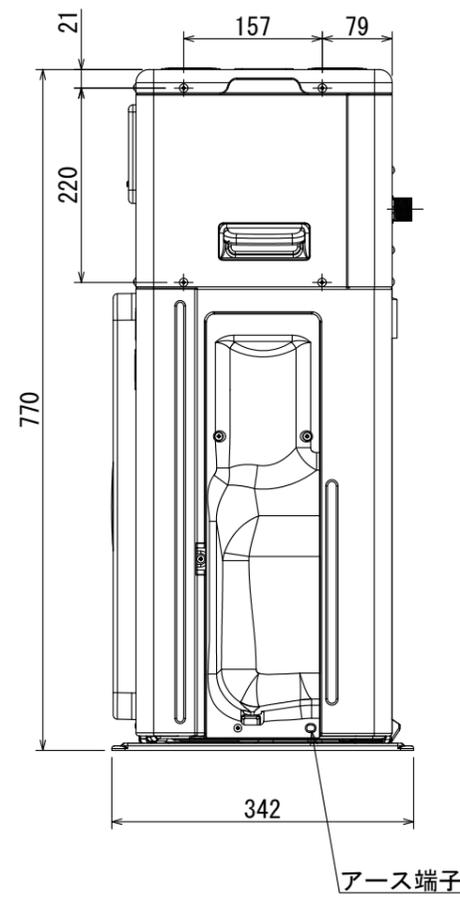
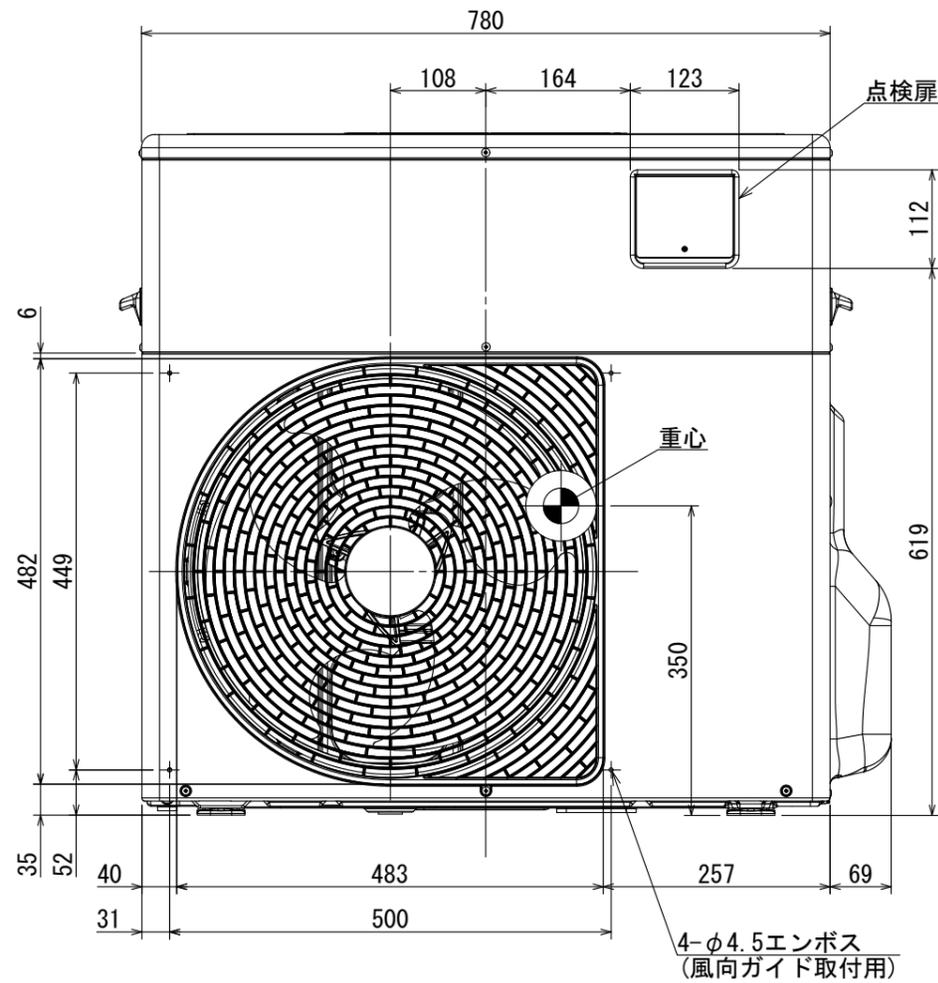
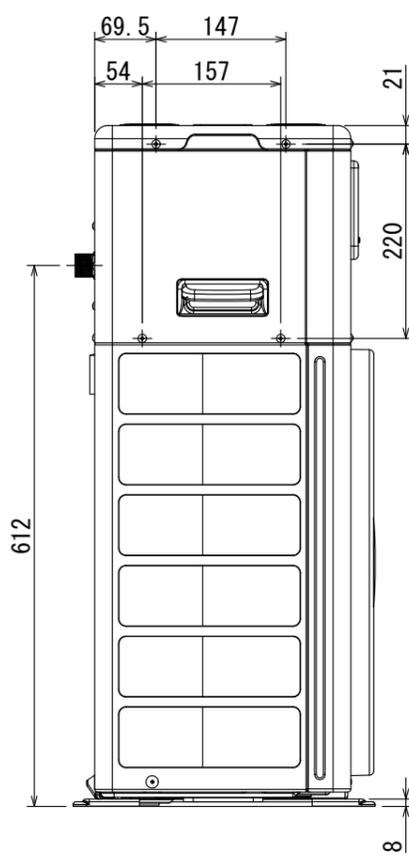
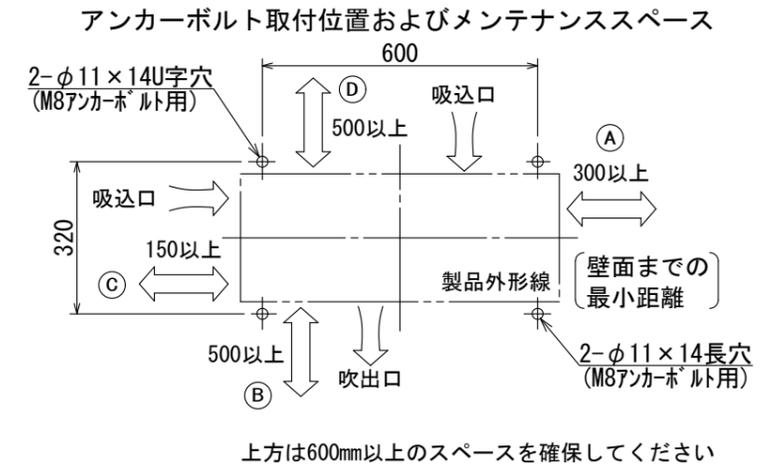
【特記事項】

- 使用冷媒：R410A
- フロン類をみだりに大気中に放出する事は禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- この機器には循環ポンプが必要です。必ず循環ポンプを運転させて流量を確保してから運転を行ってください。循環しない状態で運転すると機器が故障する原因となります。
- 【※1】0℃以下でご使用の場合、ドレンニップル、防水ゴムキャップは取付を行わないで下さい。

本体質量	48kg
運転質量	49kg



循環加温ヒートポンプの据え付けは、
 ① ② ③ ④ 方向のうち少なくとも2方向は
 開放にしてください。



日付	尺度	図法	承認	検図	作図	仕様	シリーズ	型番
22.07.01	—	⊕	竹部	神谷	清末	標準	FHP	FHP-H452H
iTONIC			図面区分			名称	図番	
			営業用総組立図			循環加温ヒートポンプ	FHP0122001-0	

